SAKU LABO ニュース

Vol.1/No.4

日本女子大学

日本女子大学 人間社会学部 地域と大学によるコラボレーションコミュニティ SAKU LABO ニュースレター

日女祭（ひめのさい）で「大学生観光まちコン」提案企画第一弾を実現！　10月21日（土）・22日（日）

この夏 SAKU LABO の学生8名が「大学生観光まちづくりコンテスト」に参加して多摩川と多摩区を盛り上げる「TAMA くる」プランと「TAMA★Kawa-ii」ブランドを提案し（前号参照）、その第1弾！と銘打ち、学生手作りのアクセサリー販売を実現しました。「川の水面（みなも）のきらめき」をイメージしてスワロフスキーなどを用いたオリジナルデザインのイアリングとピアスを作成し、パッケージにもこだわり、来場した地域の方々にも「かわいい！」と好評でした。「Kawa-ii」は地域への愛着を深めるきっかけになる、そう実感できました。

これまでも販売した「選べる米（マイ）バーガー」は「ピクニックタウン多摩区」のランチボックス化を目指し、バンズのもちもち感アップのため米粉を変え5色の野菜パウダーを入れて「カラフル米ベジパン」のネーミングで販売し、両日とも完売しました！

昨年に引き続き開催した「We♥多摩区」フォトコンテストでは、地域の皆様の応募により素敵な多摩区の写真が集まりました。風景部門の写真を見ながら「こんな場所が多摩区にあるんだね」などとご来場の皆さんのお話も弾み、素晴らしい応募写真の数々に、感謝の気持ちでいっぱいです。

コラボスイーツ「米彦（マイ・プリンス）」「米姫（マイ・プリンセス）」の販売も好評で、台風のような悪天候の中、盛りだくさんの企画でしたがチームワークで乗り切りました。足を運んでくださった多くの皆様、ありがとうございました！（森田）

笑顔満開！東菅小学校で子どもたちと交流！　11月11日（土）

川崎市教育委員会・寺子屋事業の一環で、東菅小学校で「ひらひらカラフルスノードーム」作りと「ぺたぺた手形アート」を行いました。大学生活だけでは小学生と直接関わることがないので、どのように説明すれば小学生に理解してもらえるか、飽きずに楽しんでもらえるかを準備の時から皆で話し合い、考えました。

学年や学科を超えて笑い声いっぱいで試作や準備を進め、当日、クリスマスがテーマの「ひらひらカラフルスノードーム」作りは、1回目は22組、2回目は9組の親子が参加しました。

スノードームは小学生でも作りやすく、「家庭でも季節に合わせて作りたい」という嬉しい声も聞きました。「ぺたぺた手形アート」は10名の子どもたちが参加し、一人ひとりの個性であふれたカラフルなトナカイが完成しました。

子どもたちは皆明るく、にぎやかに交流しながら制作し、私たち学生も元気をもらいました。小学生と接することで、私たちにもこのような時期があったのかと懐かしさを感じました。また、自分たちが教えるという、以前と逆の立場に立ち、とても新鮮な気持ちになりました。たくさんの「ありがとう」の言葉をかけていただき、終わった後の達成感はとてもすがすがしいものでした。またこのような機会を通して、地域とのつながりの場を増やしていきたいです。今回のイベントは NPO 法人ままとんきっずの皆さまにも協力していただきました。ありがとうございました！（宮原）

多摩川・二ヶ領・せせらぎ館「秋の収穫祭」　11月19日（日）

昨年に引き続き、登戸の多摩川べりにある二ヶ領・せせらぎ館で行われた「秋の収穫祭」に参加しました。NPO多摩川エコミュージアムの皆様を中心に、多摩区の地域の方々による新鮮野菜や手作り商品などの販売、演奏会などさまざまなイベントが行われます。今回SAKU LABOでは、「TAMAくる」プラン第2弾！として「選べる米バーガー」とキラキラ光る水辺のイメージの「TAMA★Kawa-ii」ブランドの手作りイアリング＆ピアスの販売、「ぺたぺた手形アート」「動く電子絵本の読み聞かせ」を行いました。「選べる米バーガー」「手作りアクセサリー」については、たくさんのお客様への対応や商品の具体的な説明など、販売の大変さを学びましたが、お客様の「美味しい！」という声とともに「選べる米バーガー」は完売しました。「ぺたぺた手形アート」では、一人ずつクリスマスカードを作り、壁の大きな紙にはみんなで多摩川を泳ぐ魚を合作しました。子どもたちが思い思いに楽しんでいる姿や、私たち学生が作成した「動く電子絵本の読み聞かせ」に、子どもたちが一生懸命耳を傾けてくれた姿をたくさん見ることができ、とても嬉しかったです。

今回の活動で得られた多くの貴重な経験を活かして、今後のSAKU LABOの活動をより良いものにしていきたいと思います。また、「秋の収穫祭」でSAKU LABOを支えてくださった皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。（志熊）

生田緑地クリスマスイベント　12月23日（土）

生田緑地で行われたクリスマスイベントで「松ぼっくりツリー」作りと「おおきなハンドアートツリー」を行いました。また、「TAMAくる」プラン第3弾！として、森のイメージでデザインした「TAMA★Kawa-ii」ブランドの手作りブローチ＆ヘアゴムを販売しました。

「松ぼっくりツリー」作りでは、生田緑地で集めた松ぼっくりを使ってかわいらしいクリスマスツリーを作りました。試作段階では、茹でてカラースプレーで色付けした松ぼっくりを土台にうまく固定できませんでしたが、試作を何度も重ね、参加者の皆さんには安定したかわいいツリーを作っていただけました。

「おおきなハンドアートツリー」では、昼と夜と雪の3つの大きなツリーを壁に貼り、手形やぬりえのオーナメントで飾りました。また、2020年東京パラリンピックへ、病気や障害を抱える子どもたちを応援するため、みんなの手形で大きな絵を届けるプロジェクトにも参加しました（一般社団法人Hand Stamp Art Project主催）。当日は27人の親子から手形とメッセージをいただき、少しでも貢献できたのではないかと思いました。（小林）

編集後記

2017年度のSAKU LABOの学生たちは、前期に引き続き、後期も精力的に活動しました。夏に参加した「大学生観光まちづくりコンテスト・多摩川ステージ」で提案した「TAMAくる」プランを実現していこうという目的をメンバーで共有しつつ、地域の皆様にご協力いただき、形にすることができました。難しいこともありましたが、諦めずやり遂げることで得られることはとてもたくさんありました。また、様々な皆様との交流を通じて少し大人になったかな、という手ごたえも感じています。ご協力いただいた皆々様に感謝しつつ、今後も活動していきます。応援とお声掛けを、どうぞ、よろしくお願いいたします！（編集スタッフ一同）

【 編集スタッフ・記事執筆者 】森田絵美(文化2)　小林瑞歩(教育1)　志熊あさこ(文化1)　宮原美樹(文化1)
【 情報教育研究室 教職員 】久東光代　星名由美　川成千景　都留薫　一杉眞知子
【 協力団体・協力店舗 】生田緑地，NPO法人多摩川エコミュージアム，NPO法人ままとんきっず，川崎市役所，多摩区役所，関精肉店，ベーカリーPolaris，縁-YUKARI-（50音順）
このニュースペーパーは、多摩区3大学連携事業助成金で作成しました。心より感謝申し上げます。

ピクニックタウン多摩区

SAKU LABO
お問合せ：日本女子大学 人間社会学部 心理学科 情報教育研究室
住所：〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1
電話：044-952-6792　E-mail：sakulabo@fc.jwu.ac.jp
URL：http://mcn-www.jwu.ac.jp/~sakulabo/
日本女子大学